

特定事業計画における事業数について

現行計画の事業数

前期 【R3-7 年度】	後期 【R8-12 年度】	展望期 【R13 年度～】	継続	順次	検討中	合計
128	109	249	219	12	10	727



見直し後の事業数

前期 【R3-7 年度】	後期 【R8-12 年度】	展望期 【R13 年度～】	継続	順次	検討中	合計
153 (+ 25)	166 (+ 57)	278 (+ 29)	230 (+ 11)	12 (± 0)	0 (- 10)	839 (+ 112)

新規事業について

	後期 【R8-12 年度】	展望期 【R13 年度～】	継続			合計
	+ 25	+ 17	+ 6			+ 48

見直し後の事業数の増加要因について

上表の赤波線で表記しております「見直し後の合計事業数(112)」のうち、「新規事業数(48)」を引いた数(64)について、各施設の整備進捗状況を踏まえ、現行は「前期」としていた事業が「前期・後期」となったケースや「前期・後期」の事業が「前期」のみになったケース等を取りまとめた結果、期間が重複する事業内容が増加したため、事業数が増加しております。

【参考】事業数のカウント方法

事業内容の中には、以下の図のとおり、基本構想で定めた期間が「前期・後期」や「後期・展望期」と期間がまたがって設定されている事業もあります。

「前期・後期」と設定されている場合は前期に1件、後期に1件と別々に計上しています。「後期・展望期」でも同様の方法で計上をしています。

事業内容	基本構想で定めた期間
セミフラット構造を基本とした横断勾配が小さい歩道の整備	前期 後期